

都立日野台高等学校 進学指導改善計画(1)

区分		具体的な取組内容と取組目標		
		平成22年度	平成23年度	平成24年度
学習面	入学時から卒業までの学力推移の把握方法	<ul style="list-style-type: none"> ○外部模試による学力把握の継続実施 ・全学年で外部模試を年4回設定(2年次までは同一業者)。 ・進路指導部による模試分析・報告、校内で学力推移を確認・共有。 ・定期考査・模試の個人成績表作成(年5回)、進路個別面談等での活用。 	<ul style="list-style-type: none"> →継続・発展 ・外部模試を3年次第1回まで同一業者で実施、学力推移のデータ化・分析・報告を徹底、志望校検討会等で活用。 ・教科指導(国数英)での模試活用の促進。 	<ul style="list-style-type: none"> →継続・発展 ・3か年の学力推移を比較・分析・補強ポイントの確認。 ・教科指導(国数英)での模試活用の拡充・強化。
	1年次から3年次まで学力維持のための方策	<ul style="list-style-type: none"> ○大学入試に向けた学習内容の量的拡大、質的向上 ・3年間を見通した教科指導計画の策定(国数英)、進度・難度調整、定期考査問題・補助教材等の工夫、各学年の課題と対策を次年度申し送り。 ・習熟度別授業の工夫(試験によるクラス分け、成績上位層に発展学習)。 ・成績中・下位層を対象とする定期考査前後の補習・講習の継続実施。 ・大学入試に向けた教科別補習・講習の継続実施 <ul style="list-style-type: none"> ○進路に目を向けさせ、進学意識を高める指導の推進 ・総合的な学習の時間の名称を「日野台 a Mond Project」として、将来について考えさせる一貫したキャリア教育を継続実施。 ・大学・予備校関係者による分野別説明会、大学模擬授業、大学オープンキャンパス参加、2・3年次選択科目説明会、同窓生による進路講演会、受験体験を聞く会等の継続実施。 	<ul style="list-style-type: none"> →継続・発展 ・模試・進路結果による教科指導計画の改善、進度・難度調整、定期考査問題・補助教材等の見直し・強化、各学年の課題と対策を次年度申し送り。 ・模試分析による学年ごとの学力層の把握、課題抽出・共有化。 ・成績上位層を対象とする補習・講習の実施。 ・成績中・下位層を固定化させない方策の検討・実施。 <ul style="list-style-type: none"> ・「日野台 a Mond Project」によるキャリア教育の見直し・強化。 	<ul style="list-style-type: none"> →継続・発展 ・3か年の積み重ねによる教科指導計画の改善充実(教科指導のスタンダード化)。 ・成績上位層を対象とする補習・講習の拡充・強化。 ・成績中・下位層を固定化させない方策の拡充・強化。 <ul style="list-style-type: none"> ・「日野台 a Mond Project」によるキャリア教育の3か年のまとめ、キャリア教育全体を見直し・強化。
	自宅学習時間の確保のための対策	<ul style="list-style-type: none"> ○自宅学習習慣を身に付けさせる指導の推進 ・全学年で自宅学習時間の調査実施(年2回)、進路個別面談等で指導。 ・教科による小テスト、予習ノート点検、宿題・週末課題提示等の実施。 ・自習室、図書室の開放(早朝・放課後・土曜日)、自学自習の奨励。 ・最終下校時間設定、時間管理の自覚と自宅学習を促す指導徹底。 	<ul style="list-style-type: none"> →継続・発展 ・部活動と成績・進路・自宅学習との関係をデータ化、生徒・顧問・担任で共有、学習と部活動との両立支援。 ・部活動保護者会での学習と部活動の両立支援。 ・自学自習を促す環境整備の強化。 	<ul style="list-style-type: none"> →継続・発展 ・学習と部活動の両立支援を見直し・強化。 ・自学自習を促す環境整備の見直し・強化。
	生徒に対する個別相談体制(早朝、放課後など)	<ul style="list-style-type: none"> ○組織的、計画的な進路個別面談の推進 ・各学年で進路指導の節目に進路個別面談を一斉実施(2回以上)。 ・個別面談時間の優先確保(期末考査後の活用)。 ・進路指導部・学年を中心に進路懇談会実施(計5回)、進路個別面談での指導内容確認、共有。 ・進路指導部で進路希望調査実施(全学年、年2回)、結果を共有。 	<ul style="list-style-type: none"> →継続・発展 ・3年間を見通した進路個別面談の計画策定、面談シラバス・面談準備シート・面談記録等の整備。 ・進路懇談会の見直し・強化。 	<ul style="list-style-type: none"> →継続・発展 ・進路個人面談計画の見直し・強化。 ・個別面談記録のデータ化(個人カルテ作成)・閲覧等の検討。
	入学時からの保護者生徒への学校経営方針の周知	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者の顔を学校に向けた進学指導の推進 ・学校の指導方針を示した学校経営計画、シラバス、進路指導計画等の周知。 ・進路指導部による保護者会(各学年・年2回)での進路情報提供。 	<ul style="list-style-type: none"> →継続・発展 ・保護者会での進路情報提供を「保護者向け進路学習会」として実施。 ・部活動保護者会での学習と部活動の両立支援。 	<ul style="list-style-type: none"> →継続・発展 ・3年間を見通した「保護者向け進路学習会」の計画策定、資料整備。
進路指導面	進路希望を実現させるための生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒のモチベーションアップと学力保証を図る指導体制づくり ・教務部による長期休業日等の計画的な補習・講習の実施。 ・教科による早朝、放課後、定期考査前後の補習・講習の実施。 ・第1志望貫徹を主眼に、同窓生による進路講演会、国公立大学志望者激励会、受験体験を聴く会等の継続実施、安易に指定校推薦に流れない指導の徹底。 ・最後まで頑張らせる直前対策講座(センター試験、2次試験向)実施。 	<ul style="list-style-type: none"> →継続・発展 ・進学指導の重点目標に第1志望貫徹を位置付け。 ・国公立大学志望者激励会を組織的・計画的に定期実施。 ・直前対策講座の拡充・強化。 	<ul style="list-style-type: none"> →継続・発展 ・国公立大学志望者激励会の見直し・強化。
	進路データの管理と活用	<ul style="list-style-type: none"> ○データに基づく科学的な進路指導の充実 ・データの一元化(定期考査・模試・センター試験・大学合格情報等)、データを駆使した志望校検討会、進路個別面談、出願指導の実施。 ・定期考査・模試の個人成績表作成(年5回)。 ・パソコンデータ分析システムの導入、教員研修の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> →継続・発展 ・蓄積データの管理・活用を検討、教科指導計画等へのフィードバック。 ・部活動と成績・進路・自宅学習との関係をデータ化。 ・パソコンデータ分析システムによるデータ管理、進路個別面談での活用。 	<ul style="list-style-type: none"> →継続・発展 ・蓄積データの管理・活用を拡充・強化。
	部活・行事と学習のメリハリの方策	<ul style="list-style-type: none"> ○学校行事・部活動と学習との高いレベルでの両立 ・部活動加入率90%以上を維持。 ・生徒主体の運営で自主自立の精神を育成。 ・行事・部活動で学校生活にリズムをつくり、集中力と切り替えの早さ育成。 ・最終下校時間設定、効果的な時間活用を促す指導を徹底。 	<ul style="list-style-type: none"> →継続・発展 ・部活動と成績・進路・自宅学習との関係をデータ化、生徒・顧問・担任で共有、学習と部活動との両立支援。 ・部活動保護者会での学習と部活動の両立支援。 ・自学自習を促す環境整備の強化。 	<ul style="list-style-type: none"> →継続・発展 ・学習と部活動の両立支援を見直し・強化。 ・自学自習を促す環境整備の見直し・強化。

都立日野台高等学校 進学指導改善計画(2)

区分		具体的な取組内容と取組目標			
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
教員の資質	校内における授業改善のための取組など	○教務部を中心とした授業改善に向けた組織的な取組 ・シラバスの継続作成、印刷・製本し全校生徒に配布。 ・3年間を見通した教科指導計画の策定(国数英)。 ・大学入試を前提とした質の高い授業、暗記より考えさせる授業の工夫。 ・土曜授業(年間18回)の継続実施。 ・大学進学を前提とした新教育課程の研究・策定。	→継続・発展 ・模試・進路結果による教科指導計画の改善。 ・学力向上推進プランの策定、実施。 ・新教育課程の策定、実施。	→継続・発展 ・3か年の積み重ねによる教科指導計画の改善充実(教科指導のスタンダード化)。 ・学力向上推進プランの見直し・強化。 ・外部機関による学習指導診断の実施。 ・新教育課程の実施、大学入試との整合性再検討。	
		○進路指導部を中心とした組織的な進学指導体制づくり ・進路懇談会(年間5回)、拡大進路指導部会(毎週)、志望校検討会(年2回)の実施、校内教員間の進学ノウハウの共有、継承。 ・模試分析・報告の実施(年2回)、校内で学力推移を確認・共有。 ・外部進学指導研修会参加(随時)・報告、最新進学情報の共有。	→継続・発展 ・進路懇談会の見直し・拡充・強化。 ・志望校検討会の見直し・強化。 ・進路指導部と学年の役割分担を再構築。	→継続・発展 ・学力推移を分析・確認するシステムの確立、進学指導への活用。	
入試年度		平成23年度入試	平成24年度入試	平成25年度入試	
現役合格者数の目標	国公立大学	15人以上	18人以上	20人以上	
	早・慶・上智	6人以上	8人以上	10人以上	
	MARCH	80人以上	85人以上	90人以上	